

開倫塾 2011 年度冬期講習会参加の塾生の皆様へ
「一所懸命」(一つの所で命を懸けるくらい熱心に)ものごとに取り組もう
－自分の未来は自分の力で切り開こう－

開倫塾
塾長 林 明夫

1. はじめに

みなさん、こんにちは。

私は開倫塾の創業者で、塾長の林明夫です。

開倫塾の 2011 年度冬期講習会には、7000 名以上の塾生の皆様が参加なさっておりますので、塾長として一言ごあいさつをさせていただきます。

2. 冬期講習会で学力を身につけるには

(1)まずは、開倫塾の先生方の授業を熱心にお聴き下さり、「理解」つまり「ああ、これはこういうことだったのか」と「よくわかる」「納得(なっとく)する」ことを目指して下さい。

(2)欠席や遅刻・早退は、できるだけ避けて下さい。おしゃべりや携帯電話は、絶対禁止です。すべてが「理解」の妨げになるからです。

(3)授業中、よくわからないことは、先生の許可を得てから質問して下さいね。質問は授業中や授業後をお願いします。

(4)授業中、ノートはどんどん取って下さいね。ノートが取れることは大切な能力です。

(5)講習会で学力を身につけるために、授業終了後に必ずしたほうがよいことは何か。それは、授業中に勉強した内容をすべてもう一度勉強し直すことです。

(6)では、どのように勉強し直したらよいかを次にお話します。

(7)全教科、その日に勉強した開倫塾のテキストと授業中のノートを何回も声を出して読み、スラスラ読めるまでにすることです。

＊何回も声を出して読むのは、その日に勉強した範囲だけではなく、講習会のテキストの 1 ページ目からその日に勉強した範囲までのほうが、学力ははるかに身につきます。ノートも、1 ページ目からその日に勉強したところまでを、何回も声を出して読むことが大事です。

(8)よくわからない「ことば」や「語句」があったら、辞書や参考書、用語集でどんどん調べ、その内容をノートにメモして何回も声を出して読み、「ことば」や「語句」の意味を覚えてしまいましょう。

(9)書けなそうな語句は、正確に書けるようになるまで書き取り練習を繰り返しましょうね。書けなければ得点にならないテストは、山ほどあります。また、書き取り練習は社会に出るとあまり行わない人がほとんどなので、この語句の書き取り練習は自分の一生で一回限り、今回が最後だと考えて、書き取り練習をしましょう。

(10)その日に開倫塾で勉強した問題は、すべてその日のうちにもう一回やり直すことが、開倫塾の 2011 年度冬期講習会で学力を身につけ、成績を大幅に向上させる上で一番大切と私は考えます。

- (11)問題をやり直していて、解き方がよくわからない問題は、開倫塾の先生の授業をお聴きするつもりで、授業中に取ったノートや解答集を一語一語よくかみしめながらゆっくり読んで「ああ、これはこういうことなのか」と「理解」して下さいね。
- (12)それでも、なぜそのような答えになるのかわからなければ、学校の教科書や学年別の参考書で勉強し直しましょう。それでもわからなければ、お友達に聞いたり、開倫塾の先生方に質問して下さい。わからないままにしておかないことが大事です。
- (13)開倫塾の授業中にやらなかった問題はどうか。成績をさらに伸ばすための難しい問題ですので、偏差値 65 以上、70 以上を目指す方は必ず挑戦して下さい。
- (14)家で勉強できない人は、校長先生の許可がある場合に限り、開倫塾の先生や事務職員の方が勤務している時間に、空いている教室を自習室として無料で使って頂くことが可能です。校長先生にご相談下さい。
- ただし、自習室は冬期講習会での勉強を補う場ですので、自習の内容は講習会の予習や復習、または、校長先生の許可した内容に限りです。自習室の座席表に従い指示された場所で、一言のおしゃべりもなく、静かに、黙々と自習して下さい。携帯電話やおしゃべり、居眠りがあった場合は、即退場となります。飲食物は「絶対に」机の上に置いてはなりません。カバンの中に入れ、先生の許可がある時間にのみ、飲食物を摂(と)ることを認めます。ゴミをすべて持ち帰ることは最低のマナーです。ペットボトルなどを教室のゴミ箱に捨てないで下さい。

3. おわりに

- (1)「一所懸命」、一つの所で命を懸けるくらい熱心にものごとに取り組むこと。
- (2)「あきらめたらおしまい」、「自己責任」、「自助努力」、「自分の未来は自分で切り開く」。
- (3)受験学年の小 6、中 3、高 3 の塾生の皆様は、1 月に一斉に入試があります。1 分 1 秒を大切にし、眠る時間以外は机に向かうくらいの精神でがんばって下さいね。
- (4)受験のない学年の塾生の皆様は、この 1 月に受験を控えた受験生のことを考え、自分が受験の学年を迎えるまでに何をしたらよいかを自分の頭で考え、今しなければならない勉強をしっかりとして下さい。
- (5)2011 年は、3 月 11 日の大地震、大津波、放射能被害が発生し、日本の歴史にとっても、また、皆様の生活にとっても大変な年でした。年末から新年にかけては、すべての新聞社は全力を傾けて今年の出来事をまとめ上げ、来るべき 2012 年には何をなすべきかを特集しています。冬休み中は、新聞を小学生は 20 分、中学生は 40 分、高校生は 60 分以上毎日読み、自分で考える力を身につけましょう。また、少し厚めの本をじっくり読み、自分の人生を見つめ直すことも、年の暮れや新年の素晴らしい過ごし方です。読書により得られるものは何か。思慮深さ(しりょぶかさ)であると私は考えます。
- (6)「学力の高い人に共通すること」は何か。「新聞を読んで自分で考える力を身につけていること」と「読書により思慮深さを身につけていること」、それに、「一度『うんなるほど』とよく『理解』したことを身につける(『定着』させる)勉強の仕方を身につけていること」、この 3 つです。

以上、ご参考まで。がんばって下さいね。

— 2011 年 12 月 26 日記 —